

令和2年9月10日

令和2年夏期における水難の概況

警察庁生活安全局生活安全企画課

1 概要

(1) 全国の発生状況

令和2年夏期(7～8月の2か月間をいう。以下同じ。)における水難は

○ 発生件数	504件	(前年対比 +43件)
○ 水難者	616人	(前年対比 +22人)
うち死者・行方不明者	262人	(前年対比 +23人)

であった(数値は速報値)。

このうち、中学生以下の子供(以下「子供」という。)は

○ 発生件数*	60件	(前年対比 -2件)
○ 水難者	101人	(前年対比 -6人)
うち死者・行方不明者	16人	(前年対比 +2人)

であった。

過去5年間の夏期における水難発生状況をみると、発生件数、水難者数とも平成28年を境に減少していたが、今年は増加に転じた。

*子供の水難発生件数は、水難者が子供の場合をいう。

(2) 都道府県別水難発生状況

水難発生件数を都道府県別にみると、最も多いのが千葉県で29件、次いで静岡県が26件、愛知県、沖縄県がともに23件であった。

2 特徴

(1) 年齢層別

水難者616人について、子供は、101人(16.4%)である。

(2) 場所別・行為別(全年齢層)

水難者616人について、発生した場所別にみると、多い順に

○ 海	329人	(53.4%)
○ 河川	221人	(35.9%)

であり、行為別にみると、多い順に

○ 水遊び	148人	(24.0%)
○ 魚とり・釣り	130人	(21.1%)

である。

なお、新型コロナウイルス感染症対策により不開設となった海水浴場での水難者数は52人であり、うち死者・行方不明者数は10人であった。

死者・行方不明者262人について、発生した場所別にみると、

○ 海	114人	(前年対比-7人)
○ 河川	112人	(前年対比+20人)

で河川が大きく増加した。

(3) 場所別・行為別（子供）

子供の死者・行方不明者16人について、発生場所別にみると、多い順に、

- 河川 9人（56.3%）
- 海 4人（25.0%）

であり、行為別にみると、多い順に

- 水遊び 9人（56.3%）
- 水泳 4人（25.0%）

である。

注：％は、小数点以下第2位を四捨五入。（表3～10においても同じ。そのため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合がある。）

3 水難の防止対策

水難を未然に防ぐためには、以下のような点に留意する必要がある。

○ 危険箇所の把握

魚とり・釣りでは、転落等のおそれがある場所、水泳や水遊びでは、水（海）藻が繁茂している場所や水温の変化、水流の激しい場所、深みのある場所等の危険箇所を事前に把握して近づかない。また、子供を危険箇所に近づけない。

○ 的確な状況判断

風雨、落雷等の天候不良時や上流で雨が降っているときなど、河川が増水するおそれが高いときには、釣りや水泳、中洲や河原でのバーベキューなどを行わない。

海においては、天候の変化や波の高さに注意を払い、海岸の地形や沖合で台風が発生している場合など、離岸流や高波が発生するおそれが高いときは、海に入らない。

また、体調が悪いとき、飲酒したときなどは、海、河川に入らない。

○ ライフジャケットの活用

釣りやボート等で水辺に行くときは、落水した場合に備え、必ずライフジャケットを着用（体のサイズに合った物を選び、正しく着用）する。

○ 遊泳時の安全確保

- ・ 掲示板、標識等により危険区域と標示された区域内に入らない。
- ・ 遊泳区域を標示する標識、浮き等を移動し、又は損壊しない。
- ・ 遊泳区域以外の水域で遊泳しない。
- ・ 遊泳中、他人に抱きつくなどの遊泳上危険な行為をしない。
- ・ 遊泳に当たっては、水深、水流を考慮し、安全な方法で遊泳する。

○ 保護者等の付添い

子供の水難防止のため、子供だけでは水遊び等をさせず、幼児や泳げない学童等には、必ずライフジャケットを着用させ、保護する責任のある者が付き添うなどして、目を離さないようにする。

表1 水難発生状況(過去5年)

(夏期)

	平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		令和2年	
	総数	子供	総数	子供	総数	子供	総数	子供	総数	子供
発生件数(件)	614	98	511	83	502	81	461	62	504	60
水難者(人)	735	132	647	130	595	117	594	107	616	101
死者・行方不明者	304	19	248	14	242	14	239	14	262	16
死者	295	19	241	14	237	14	237	14	260	16
行方不明者	9		7		5		2		2	
負傷者	147	32	125	35	116	32	112	29	73	15
無事救出	284	81	274	81	237	71	243	64	281	70

注:「発生件数(件)」の、「子供」欄は水難者が子供のみであった件数を示す。

発生件数等の推移

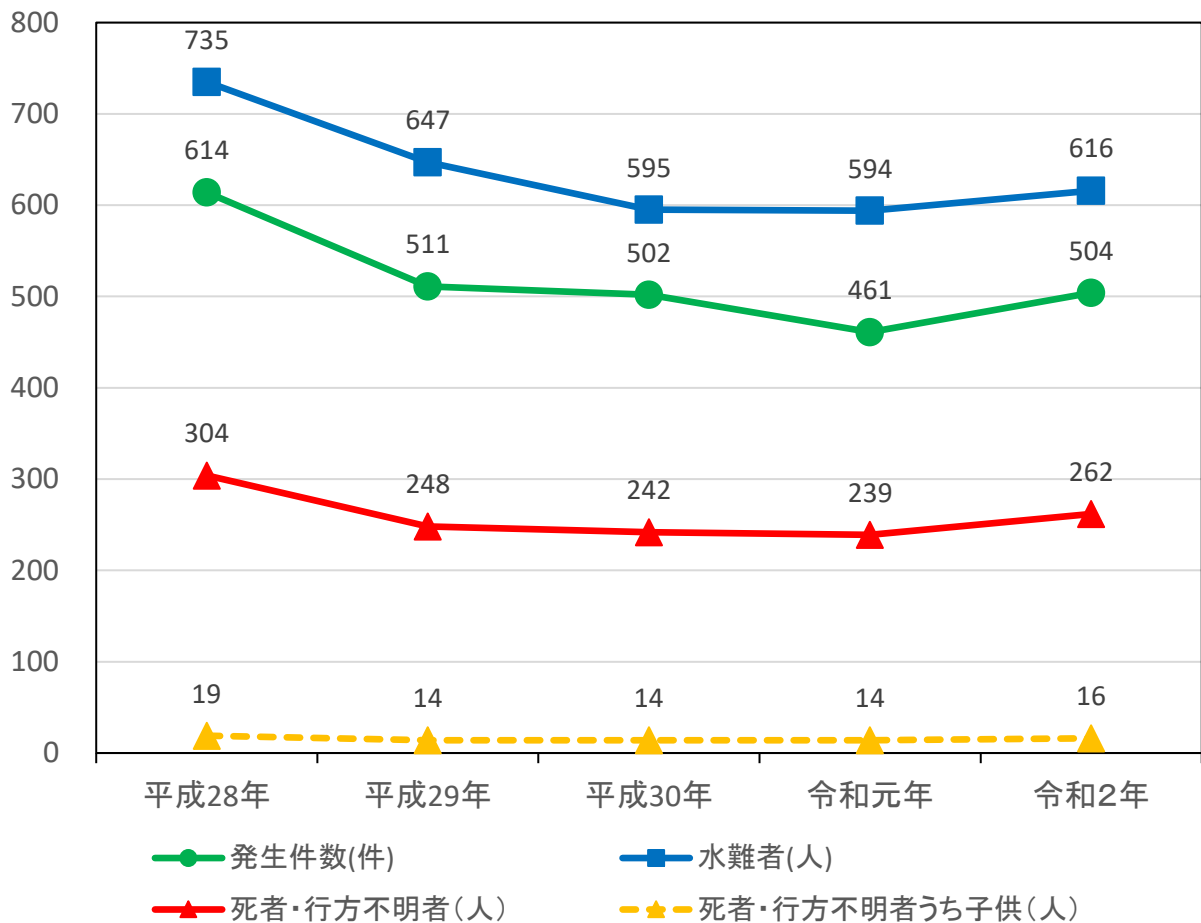


表2 都道府県別水難発生状況

(令和2年夏期)

	発生件数(件)		水難者総数(人)									
		うち子供	死者		行方不明者		負傷者		無事救出			
			うち子供	うち子供	うち子供	うち子供	うち子供	うち子供				
北海道	20	4	30	8	12	1		3		15	7	
東北	青森	6	6		3			1		2		
	岩手	3		7		1				6		
	宮城	4	1	5	2	3	2		1		1	
	秋田	11		13		6			3		4	
	山形	10	2	10	2	6					4	2
	福島	8		8		4			2		2	
東京	21	1	29	1	12			2		15	1	
関東	茨城	6	2	6	2	4	1				2	1
	栃木	7		8		8						
	群馬	1		1							1	
	埼玉	5		5		5						
	千葉	29	3	36	6	9			6	1	21	5
	神奈川	18	2	24	3	12	1		3	1	9	1
	新潟	20	3	21	4	8					13	4
	山梨	5		5		4					1	
	長野	4		4		3			1			
	静岡	26	4	28	5	9			6	2	13	3
中部	富山	15		16		14					2	
	石川	9	1	9	1	4			3	1	2	
	福井	17	3	24	5	7	1		4	2	13	2
	岐阜	22	3	23	4	7			7	1	9	3
	愛知	23	2	34	5	5			3	1	26	4
	三重	6	2	8	2	2	1		2		4	1
近畿	滋賀	6	1	9	3	2			1		6	3
	京都	5	1	6	1	3					3	1
	大阪	4		5	1	4					1	1
	兵庫	15	1	17	1	3			2		12	1
	奈良	7	1	7	1	2			1		4	1
	和歌山	10	2	12	4	6	2		3	1	3	1
中国	鳥取	10	1	17	5	2			1		14	5
	島根	7	1	11	3	5	1	1	2		3	2
	岡山	8		8		4					4	
	広島	14	2	18	4	9			3	1	6	3
	山口	9	1	12	4	8	1				4	3
四国	徳島	7		8		3			2		3	
	香川	4	1	4	1	2					2	1
	愛媛	4		4		3					1	
	高知	8	3	9	4	4			1	1	4	3
九州	福岡	12	2	14	3	9	2		1		4	1
	佐賀	5		5		4					1	
	長崎	12	2	12	2	8	1				4	1
	熊本	9	2	9	2	5	1		1		3	1
	大分	7	2	8	3	4			1	1	3	2
	宮崎	5	2	6	3	1			1		4	3
	鹿児島	17	1	26	4	9	1		2		15	3
	沖縄	23	1	29	2	12		1	4	2	12	
計	504	60	616	101	260	16	2		73	15	281	70

表3 年齢層別 水難者数

(夏期)

	令和2年	
	人数	構成比
子供	101	16.4%
未就学児童	25	4.1%
小学生	58	9.4%
中学生	18	2.9%
高校生又はこれに相当する年齢の者	35	5.7%
高校卒業に相当する年齢以上65歳未満の者	319	51.8%
65歳以上の者	151	24.5%
不明	10	1.6%
合計(人)	616	

表4 場所別 水難者数

(夏期)

	令和2年	
	人数	構成比
海	329	53.4%
河川	221	35.9%
湖沼池	29	4.7%
用水路	29	4.7%
プール	4	0.6%
その他	4	0.6%
合計(人)	616	

表5 行為別 水難者数

(夏期)

	令和2年	
	人数	構成比
水泳	89	14.4%
水遊び	148	24.0%
魚とり・釣り	130	21.1%
作業中	26	4.2%
通行中	33	5.4%
その他	190	30.8%
陸上における遊戯・スポーツ中	4	0.6%
ボート遊び	41	6.7%
水難救助活動	16	2.6%
シュノーケリング	20	3.2%
スキューバダイビング	9	1.5%
サーフィン	15	2.4%
その他	24	3.9%
不明	61	9.9%
合計(人)	616	

表6 年齢層別 死者・行方不明者数

(夏期)

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
子 供	19	14	14	14	16	6.1%
未就学児童	3	4	2	3	4	1.5%
小 学 生	10	7	8	11	7	2.7%
中 学 生	6	3	4		5	1.9%
高校生又はこれに相当する年齢の者	13	16	11	10	9	3.4%
高校卒業に相当する年齢以上65歳未満の者	148	113	126	113	114	43.5%
65歳以上の者	122	103	91	88	113	43.1%
不 明	2	2		14	10	3.8%
合計(人)	304	248	242	239	262	

死者・行方不明者の年齢層別構成比の推移

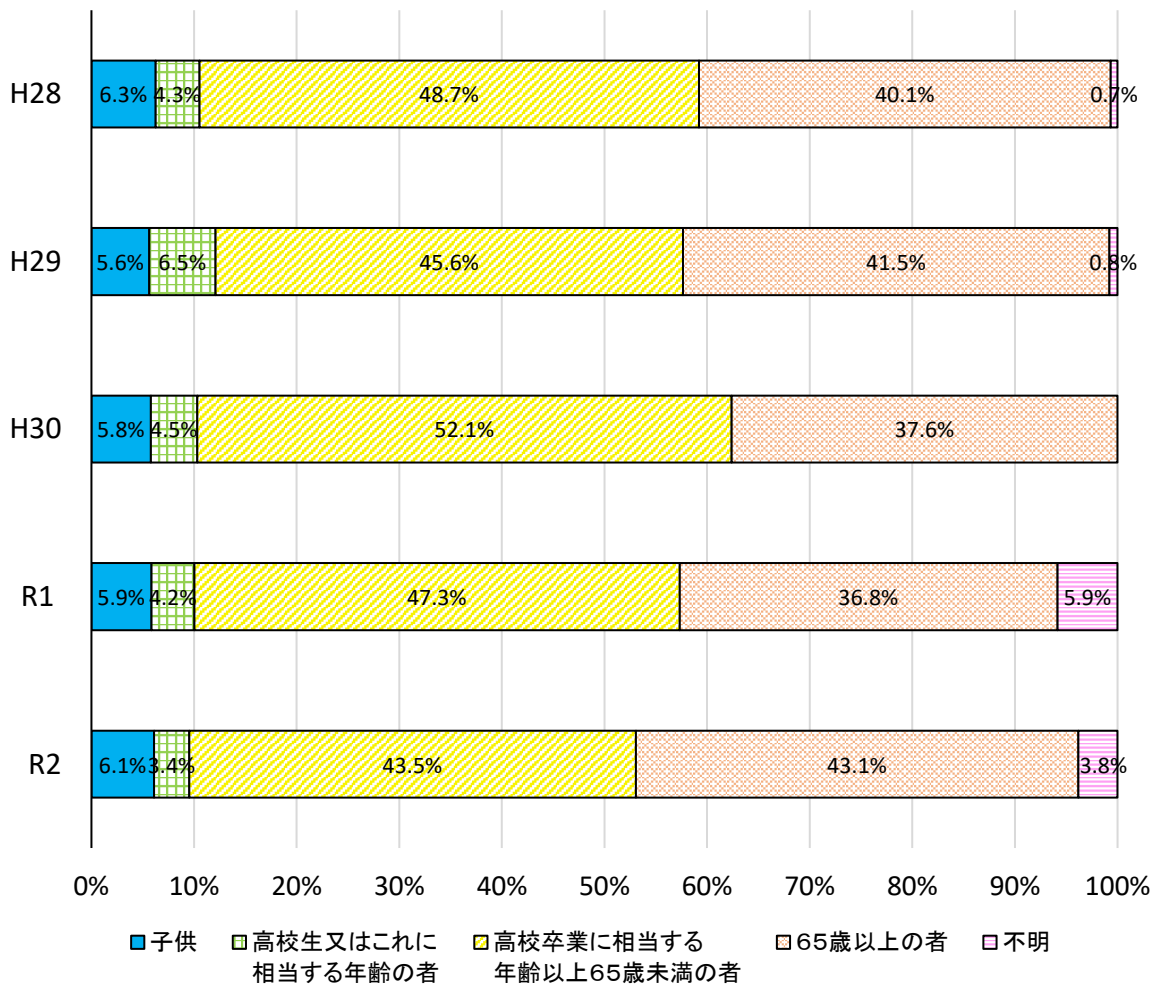


表7 場所別 死者・行方不明者数

(夏期)

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
海	162	145	146	121	114	43.5%
河川	101	72	70	92	112	42.7%
湖沼池	16	11	13	10	11	4.2%
用水路	20	18	12	9	20	7.6%
プール	5	1		5	2	0.8%
その他		1	1	2	3	1.1%
合計	304	248	242	239	262	

死者・行方不明者の場所別構成比の推移

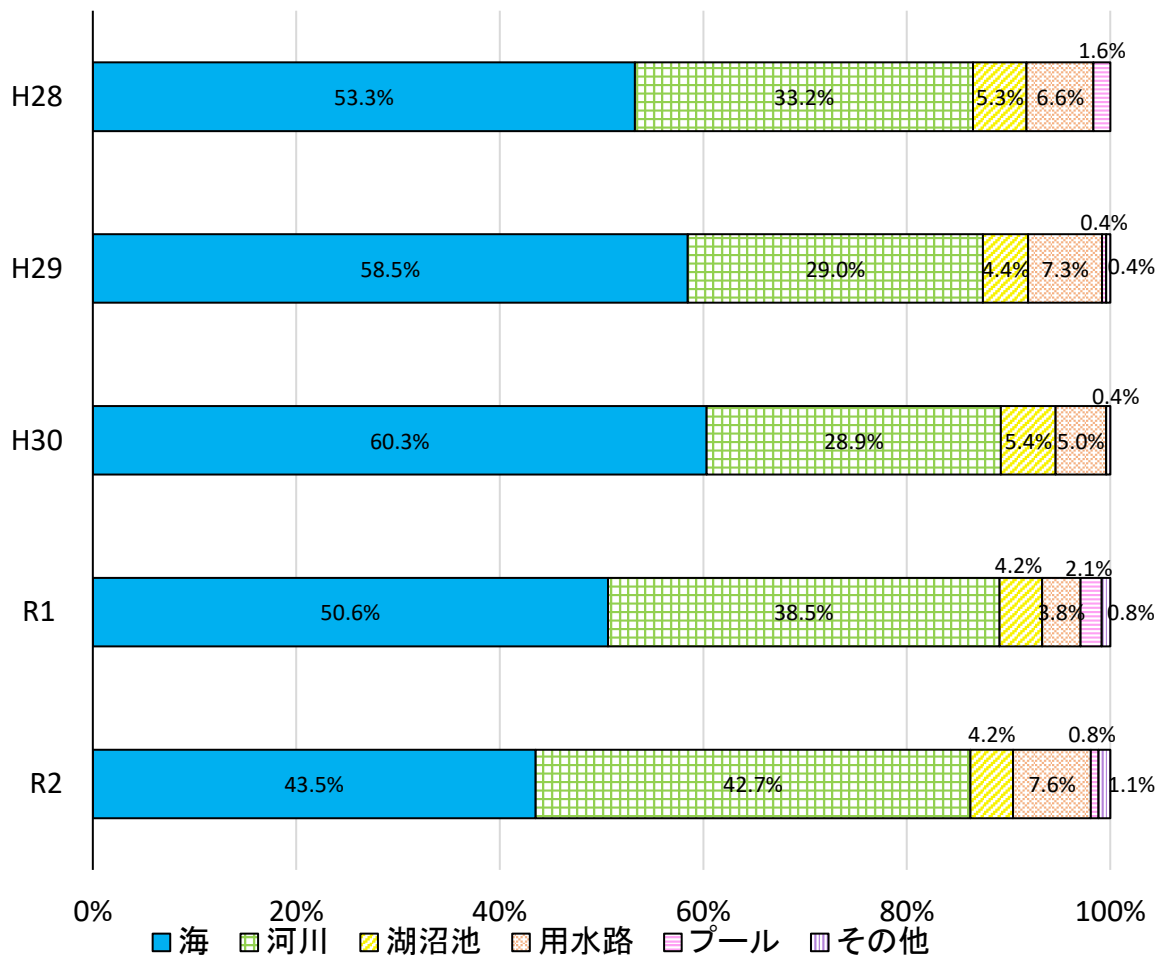


表8 場所別 死者・行方不明者数(子供)

(夏期)

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
海	2	4	4	6	4	25.0%
河川	12	7	7	5	9	56.3%
湖沼池	3	1	2	1	1	6.3%
用水路		1	1		1	6.3%
プール	2	1		2	0	0.0%
その他					1	6.3%
合計	19	14	14	14	16	

死者・行方不明者(子供)の場所別構成比の推移

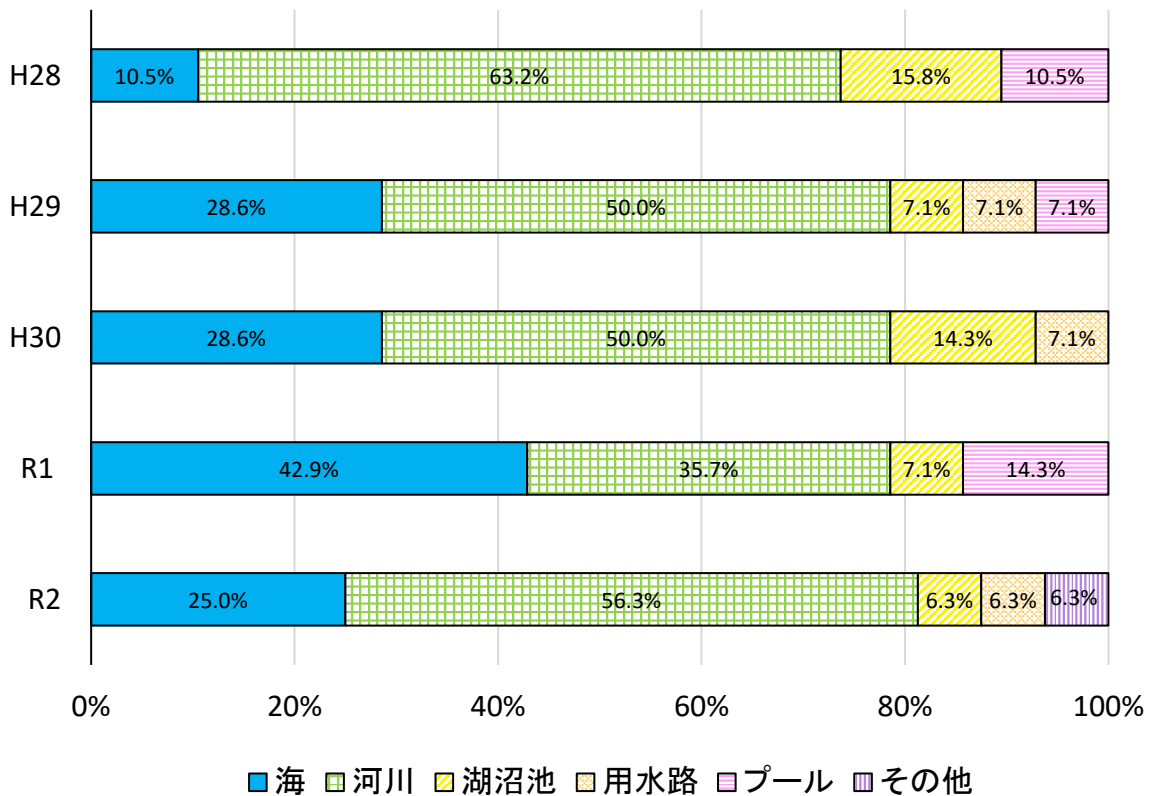


表9 行為別 死者・行方不明者数

(夏期)

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
水泳	60	38	39	38	28	10.7%
水遊び	49	45	55	42	52	19.8%
魚とり・釣り	79	67	57	67	73	27.9%
作業中	18	13	12	8	13	5.0%
通行中	10	10	8	9	10	3.8%
その他	88	75	71	75	86	32.8%
陸上における遊戯・スポーツ中	1	1	1		0	0.0%
ボート遊び	2	2	2	3	1	0.4%
水難救助活動	8	8	10	5	4	1.5%
シュノーケリング	12	10	14	4	8	3.1%
スキューバダイビング	4	9	6	4	6	2.3%
サーフィン	5	2	4	2	1	0.4%
その他	7	10	6	7	7	2.7%
不明	49	33	28	50	59	22.5%
合計	304	248	242	239	262	

死者・行方不明者の行為別構成比の推移

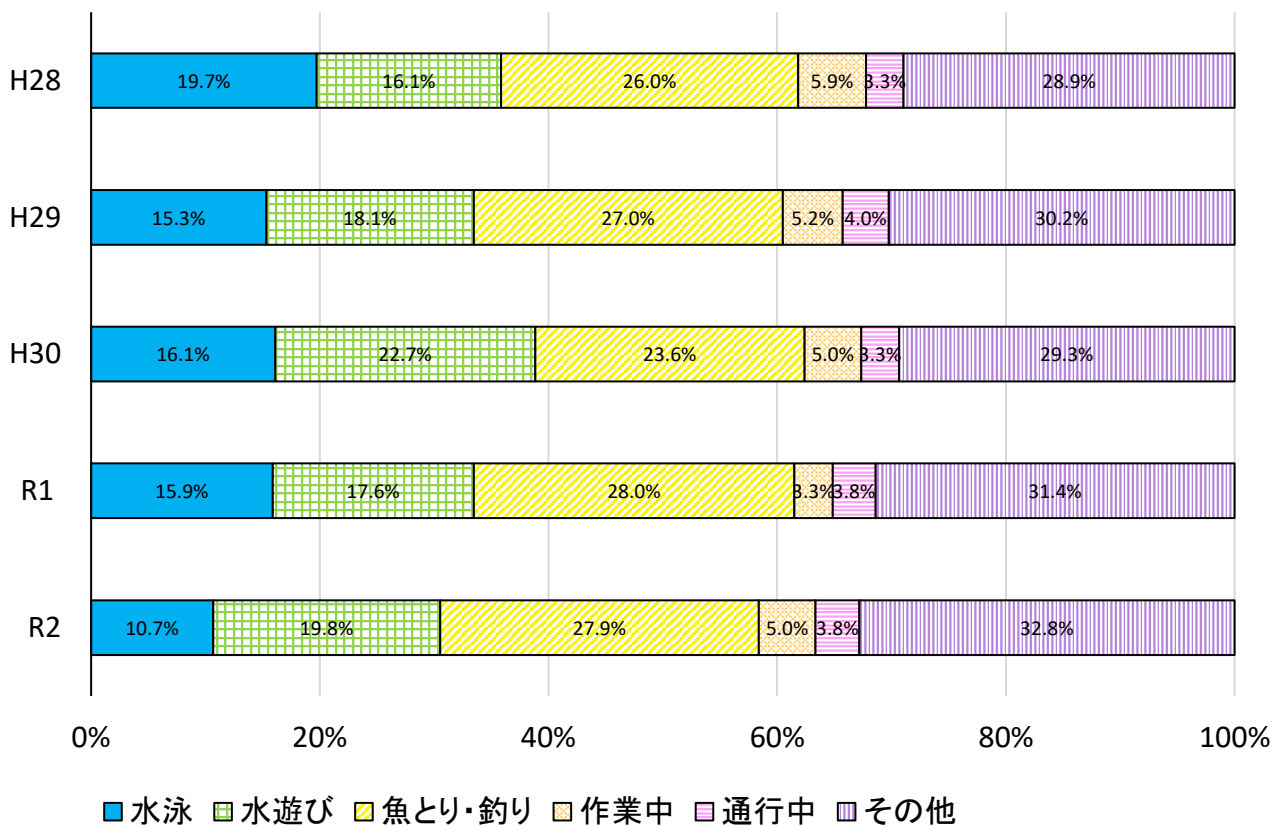


表10 行為別 死者・行方不明者数(子供)

(夏期)

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
水泳	3		4	2	4	25.0%
水遊び	11	7	8	7	9	56.3%
魚とり・釣り	2	4			1	6.3%
作業中					0	0.0%
通行中	1			3	0	0.0%
その他	2	3	2	2	2	12.5%
陸上における遊戯・スポーツ中	1	1			0	0.0%
ボート遊び		1			0	0.0%
水難救助活動					0	0.0%
シュノーケリング					0	0.0%
スキューバダイビング					0	0.0%
サーフィン					0	0.0%
その他				1	0	0.0%
不明	1	1	2	1	2	12.5%
合計	19	14	14	14	16	

死者・行方不明者(子供)の行為別構成比の推移

